

平成23年度 事務事業評価シート

課名		文化会館		文化会館		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり			
事業名	文化会館管理運営業務								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	5	文化会館費
	細目	1	文化会館運営業務	細々目	1	文化会館運営業務	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
当文化会館は、平成6年4月に開館以来、芸術文化の中核施設として多くの方の利用をいただいている。特に、大ホールの施設・舞台環境は、専門家からも高い評価を受けている。	市民に優れた芸術文化の環境を提供するため、施設・設備面の適正管理を行う。施設の老朽化も進んでおり、適切な維持管理が必要となっている。利用しやすい会館づくり、質の高い舞台環境の提供を行い、芸術文化の振興に努める。	大ホール、小ホール等の貸館運営、日常の会館維持管理、など。	
活動指標		成果指標	
文化会館におけるイベント等の開催件数		文化会館利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
1,000件	1,264件	53,000人	52,741人
			成果指標の到達度(B/A)
			99.5%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報酬	1,938,000	1,932,000	財源(内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	12,954,000	12,752,602		県支出金 ()		
	役務費	661,000	590,775		地方債 ()		
	委託料	18,214,000	18,119,008		その他 (19.0)	6,538,000	6,494,823
	その他	1,016,000	738,871		一般財源 (81.0)	28,245,000	27,638,433
合計	34,783,000	34,133,256	合計	34,783,000	34,133,256		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		2.8	9,850,934				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
会館利用者に気持ち良く利用していただき、次回も利用していただけるように運営面や施設面で気を配っているが、施設・設備面においては老朽化のために利用者に迷惑をかけてしまうことがある(例;雨漏りがする、冷暖房が効かない、照明が暗い、など)。一方、会館使用料や空調使用料は他市の会館や市内の他施設と比較しても低価格に設定している。		多くの市民に文化会館に足を運んでいただき、次回も利用したいと思うていただくためには、施設維持管理を適正に行い、施設を常に整えておくとともに、運営面においてもスマートな対応によって利用者の満足度を上げる努力が必要である。また、今後は設備改修のための特定財源を確保する意味においても、会館使用料及び冷暖房料使用料の改定(増額)が必要である。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート				課名	文化会館	文化会館	No	2
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興			2	芸術文化の振興		1
事業名	青少年劇場・巡回芸術劇場公演事業							
予算費目	款	10	教育費		項	5	社会教育費	
	目	1	社会教育管理業務費		細々目	11	文化振興関連経費	
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()				予算種別	継続		経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
市内の児童・生徒が芸術文化に触れる機会を充実させるため、山口県主催事業である本事業を共同主催で実施。現在は、市内の小学校を対象に年2回(2校)で実施しているが、中学校では実施できていない。	対象：市内児童・生徒 意図：市内の児童・生徒を対象に、芸術文化に触れてもらい、豊かな感性を育む環境をつくるため。	毎年、市内小学校2ヶ所において、演劇やコンサート等の学校での鑑賞機会を提供するため、青少年劇場・巡回芸術劇場の公演を開催。公演内容は、学校側が事業メニューから選ぶ。山口県主催事業で事業経費の一部を負担。実施校の児童のほか、保護者等地域住民も鑑賞できるようにしている。	
活動指標		成果指標	
開催に必要な予算額		公演回数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
500,000円	324,750円	3回 (小学校2校、中学校1校)	2回 (小学校2校)
			成果指標の到達度(B/A)
			66.67%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	24,000	26,000	財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
	委託料	0	78,750		県支出金	()	
	負担金・補助及び交付金	363,000	220,000		地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		(100)	387,000	324,750
合計		387,000	324,750	合計		387,000	324,750

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.05	302,050

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
中学校では実施していない。	それぞれの小学校、中学校で在校中に1回は必ず鑑賞等ができるようにするためには、小学校では6年に1回、中学校では3年に1回は巡回しなければならない。また、複数校の児童、生徒を1か所に集めて鑑賞してもらうためには、移動に伴う予算または学校側の理解(学校での費用負担等)が必須となってくる。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A	A
計画どおり事業を進めることが適当	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		文化会館		文化会館		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり			
事業名	市民文化祭開催事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	市民文化祭開催経費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務費	細々目	14	市民文化祭開催経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
各種文化団体と連携し、質の高い芸術文化に触れる機会及び市民の芸術文化活動の場を提供するために開催。	市民及び市内各種文化団体を対象に、市民の自発的な芸術文化活動の活性化を図り、市内の芸術文化の向上につなげるために実施。	9月から11月にかけて、11部門(川柳大会、日舞大会、市民音楽祭、華道展、菊花展、展覧会、邦楽大会、市民茶会、洋舞演劇大会、俳句大会、短歌大会)を開催。部門ごとに会議を開催し、日程、内容等協議しながら実施。		
活動指標		成果指標		
開催部門数		参加者数		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	
11部門	11部門	2,000人	1,552人	77.6%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	36,000	36,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
	需要費	156,000	119,087		県支出金 ()		
	役務費	76,000	76,000		地方債 ()		
	委託料	77,000	75,900		その他 ()		
					一般財源 (100)	345,000	306,987
合計		345,000	306,987	合計		345,000	306,987

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.45	2,515,041

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
市民文化祭は、現在11部門で開催している。部門によっては自発的に実施しているものもあるが、事業内容や組織編成により自発的な実施が難しい部門もある。	全部門が自発的に実施できるように手法や内容等を検討する必要がある。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート			課名	文化会館		文化会館	No	4
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興			2	芸術文化の振興		1
事業名	主催文化事業(文化会館実施事業)							
予算費目	款	10	教育費		項	5	社会教育費	
	細目	1	社会教育管理業務費		細々目	11	文化振興関連経費	
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()					予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
平成22年度に、全国公募により文化会館館長を民間から迎え、同年度から実施してきた、文化会館での主催文化事業を継続。	幅広い年代の人を対象に、それぞれの時代に応じた事業を企画、実施することによって、市民の文化芸術に触れる市の文化振興を図るとともに、文化会館への来場者を増やし活性化を図る。	0才から入場できるファミリー向けのコンサート「0才からのファミリーコンサート」、休日午後に茶菓子付で音楽を気軽に楽しんでもらう「休日昼下がりのティータイムコンサート」、乳幼児とその保護者を対象に音楽を使って楽しくスキップをする「おんがくであそぼう」、60才前後の人を中心としたコンサート「アラ還フェスティバル」といった独自の主催文化事業を実施。入場料を徴収し特定財源に充てる。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
実施回数		参加者数・入場者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	95.2 %
27回	27回	1,650人	1,571人	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	700,000	540,000	財(源)割内訳	国庫支出金 ()		
	需用費	329,000	177,869		県支出金 ()		
	役務費	10,000	2,520		地方債 ()		
	委託料	0	52,500		その他 (75.8)	850,000	610,500
	材料及び賃借料	70,000	32,659		一般財源 (24.2)	259,000	195,048
合計	1,109,000	805,548	合計	1,109,000	805,548		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.85	2,932,274				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
これらの事業について、お客様にはおおむね好評をいただいているが、演奏者の発掘・交渉については、これまでのところ館長の人脈によるところが大きい。		これまでの事業や貸館などで得たつながりを大切にし、県内で活躍される演奏者と良好な関係を築いていくことが重要である。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		文化会館		文化会館		No	5		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり			
事業名	主催文化事業実施事業(公共ホール音楽活性化事業:財団法人地域創造)								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務費	細々目	11	文化振興関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	新規	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
山陽小野田市文化会館の活性化、地域の音楽における文化活動の環境づくり、ホールスタッフの企画・制作能力の向上のため、財団法人地域創造の当事業に応募し、採択される。	山陽小野田市文化会館の活性化、地域の音楽における文化活動の環境づくり、ホールスタッフの企画・制作能力の向上のために実施。	財団からアーティストの派遣を受け、原則連続した3日間で、ミニコンサートやワークショップなど地域交流を図る事業計4回、文化会館でコンサート「ふるさと夢コンサート」を1回実施する。財団の負担は、演奏家派遣経費全額と地域交流プログラム負担金(限度額10万円)。	
活動指標		成果指標	
コンサート実施回数		参加者数・入場者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
5回	5回	729人	484人
			成果指標の到達度(B/A)
			66.4 %

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	20,000	0	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	230,000	15,153		県支出金 ()		
	役務費	360,000	204,100		地方債 ()		
	委託料	110,000	206,050		その他 (57.5)	600,000	259,500
	使用料及び賃借料	20,000	26,325		一般財源 (42.5)	140,000	192,128
合計	740,000	451,628	合計	740,000	451,628		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.45	2,080,142				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	B 有効性が認められる	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
9月30日に開催した「ふるさと夢コンサート」は、チェロとパーカッション(主にマリンバ)で実施した。演奏者のクオリティは大変高く素晴らしい演奏だったが、楽器そのものに馴染みが薄いためか、入場者数が伸び悩んだ。	一流の文化芸術鑑賞機会を市民に提供することは文化振興のためには大変有意義であるので、こうした事業は継続していかねばならないが、入場者数を増やすためには、あらゆる広報・広告媒体を利用した宣伝活動など、さらなる創意工夫が必要である。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート				課名	文化会館	文化会館	No	6	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)			
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興		2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり		
事業名	主催文化事業実施事業(芸術文化振興基金助成事業:独立行政法人日本芸術文化振興会)								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務費	細々目	11	文化振興関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	新規	臨時	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
地方に住んでいる子どもたちは、本物の芸術文化に触れる機会が少なく、オペラなどを生で鑑賞する機会がほとんどない。	本物の芸術文化に触れる機会の少ない子どもたちに、普段あまり鑑賞することのできないオペラの鑑賞機会を提供することにより、地域の芸術文化向上に寄与する。	独立法人日本芸術文化振興会の助成金交付事業を活用し、山口県出身の声楽家の演出・出演による、親子で楽しむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」を開催。	
活動指標		成果指標	
広報、啓発活動等の回数 周知する小・中学校の数		入場者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
8回(HP、広報、広告) 小・中学校19校	8回(HP、広報、広告) 小・中学校19校	600人	524人
			成果指標の到達度(B/A)
			87.3%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	30,000	0	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	250,000	33,583		県支出金 ()		
	役務費	240,000	194,995		地方債 ()		
	委託料	1,267,973	1,589,395		その他 (73.2)	1,200,000	1,330,500
	使用料及び賃借料	30,000	0		一般財源 (26.8)	617,973	487,473
合計	1,817,973	1,817,973	合計	1,817,973	1,817,973		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,405,482				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	B 有効性が認められる	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
企画段階から地元声楽家と文化会館職員及び舞台管理技術者が密接に連携し、地元密着型のオペラを創作した。歌詞を日本語にするなど、分かりやすい舞台を目指したが、それでも分かりにくかったという声をいただいた。	市民の間に必ずしも定着していないこうした事業を何度も繰り返し行い、市の総合的な文化力の底上げを図る。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		文化会館		文化会館		No	7		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり			
事業名	主催文化事業実施事業(市民文化講演会)								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務費	細々目	11	文化振興関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
芸術文化鑑賞機会の提供の一つとして実施している。	主に市民を対象に、芸術文化を鑑賞する機会を作り、芸術文化を育む環境を作る。	毎年開催される、生涯学習フェスタと同日同会場(市民館)で開催。23年度は、弁護士の菊地幸夫さんを講師に迎え実施。入場料を徴収。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
広報、啓発活動等の回数		入場者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	67.25 %
7回	8回	400人	269人	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	0	3,000	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	193,000	25,250		県支出金 ()		
	役務費	120,000	135,352		地方債 ()		
	委託料	731,274	640,500		その他 (37.8)	400,000	304,000
合計	1,044,274	804,102	一般財源 (62.2)		644,274	500,102	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)	合計			
		0.1	604,100	1,044,274 804,102			

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	B 有効性が認められる	B 効率性が認められる	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
芸術文化鑑賞機会の提供の一つとして実施している事業だが、毎年講師の人選に苦労している。また、市民文化講演会とはいうが、文化には直接関係しない講演もある。	市民文化講演会とはどうあるべきなのかを改めて考え直す必要がある。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
B 事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要	B 事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要 人が集まる講師には、もっと費用がかかる
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		文化会館		文化会館		No	8		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり			
事業名	主催文化事業実施事業(三井住友海上文化財団派遣コンサート:公益財団法人三井住友海上文化財団)								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務費	細々目	11	文化振興関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	新規	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市民に質の高い芸術文化鑑賞機会の提供に努める中、クラシックコンサートに関して、これまでとは違ったジャンルのコンサートを開催することによる、市の文化レベルの向上を目指し、当事業(財団助成事業)を申請。		一人でも多くの市民に、文化会館に足を運んでもらい、カジュアルな感覚で生のクラシック音楽に触れてもらうことで、クラシック音楽を楽しむ風土を培っていくことを目指し実施。		日本クラシックサックス界の第一人者である須川展也氏によるサックスリサイタルを実施。財団助成事業のため、入場料を低額に設定。また、コンサート翌日には、市内学生を対象に、出演者によるクリニックも実施。 事業に係る経費は、財団が演奏家出演謝金・交通費・宿泊費・楽器運送費を負担し、その他経費を市が負担する。入場料収入帰属は市。(市、県、財団の共同主催)	
活動指標			成果指標		
広報、啓発活動等の回数			入場者数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
8回		12回		100%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
520人		539人			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費・報償費	100,000	98,320	財(源)割内訳	国庫支出金 ()		
	需用費	226,000	58,820		県支出金 ()		
	役務費	240,000	250,952		地方債 ()		
	委託料	118,253	284,275		その他 (72.0)	495,000	507,000
	使用料及び賃借料	20,000	11,886		一般財源 (28.0)	209,253	197,253
合計		704,253	704,253	合計		704,253	704,253
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,173,992				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
演奏者の須川展也氏は、クラシックサックスというカテゴリーを築いた、サックス演奏者にとって知らない人はいないほどの存在であるが、それでも満席にすることはできなかった。アンケートでは他市、他県からのお客様が多く来場され、入場料(1,000円)の安さに驚いておられたが、それでも市内での売れ行きは芳しくない。		助成事業などを活用しながら、クオリティの高い公演を継続して実施することで、市の総合的な文化力の底上げを図る。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート				課名	文化会館	文化会館	No	9
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)		
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興		2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり	
事業名	主催文化事業実施事業(市民参加型事業:ピアノマラソン大会・山陽小野田少年少女合唱祭)							
予算費目	款	10	教育費		項	5	社会教育費	
	細目	1	社会教育管理業務費		細々目	11	文化振興関連経費	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
ピアノマラソン大会は、文化会館開館以来の継続事業で、平成23年度で第17回目の開催となる。 山陽小野田少年少女合唱祭は、第21回国民文化祭・やまぐち2006「少年少女合唱祭」で得られた成果を引き継ぎ、国民文化祭開催後、毎年実施している事業で、平成23年度で第5回目の開催となる。	市民の自発的な芸術文化活動の活性化を図ることを目的に開催する市民参加型の事業。	ピアノマラソン大会は、文化会館所有のスタインウェイを1人1曲5分以内で演奏し、全出場者の演奏時間のトータルを記録する大会。(参加者を募集し、参加料を徴収)なお、今回はイベントとして、子どもたちのためのピアノコンサートも実施した。 合唱祭は、県内の合唱団の日頃の練習成果を発表する場とするとともに、交流会を開催し、団体間の交流を深め、つながりを持てるようにする。(入場料を徴収)	
活動指標		成果指標	
開催日数(合計)		ピアノマラソン大会参加者数 合唱祭参加者数・入場者数の合計	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
4日	4日	1,044人	1,356人
			成果指標の到達度(B/A) 129.9%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	537,000	566,359	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	200,000	95,581		県支出金 ()		
	役務費	150,000	123,272		地方債 ()		
	委託料	480,000	401,500		その他 (73.56)	625,000	881,500
	使用料及び賃借料	20,000	11,613		一般財源 (26.44)	762,000	316,825
合計		1,387,000	1,198,325	合計		1,387,000	1,198,325
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.4	1,546,602				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
ピアノマラソン大会は参加者数が増加傾向にあり、受入れ体制が限界に近い。 少年少女合唱祭は出演団体が固定化しマンネリ化してきている。	ピアノマラソンは、実施方法や募集方法について、受入れがより容易にできるように改善策を検討していかなければならない。 少年少女合唱祭は、これまで参加したことのない県内の児童合唱団体にも積極的に声をかけ、新たな交流を図るよう努める。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		市民館		No	1	
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり
事業名	市民館管理運営事業(文化ホール)					
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費
	目	1	市民館運営業務	細々目	1	市民館管理運営費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
市民館文化ホールは、市民の文化活動や芸術の発表の場として昭和48年に完成した。多くの市民・団体等に利用されているが、開館後40年が経過しているため施設の維持管理費に多くの経費がかかる。	多くの市民が安全・快適に文化・芸術活動等の発表・練習、または芸術を鑑賞できる場所を提供する。	条例・規則などにに基づき施設の公平・公正な貸出事務を行う。また、日頃から館内点検を心がけることにより、なるべく経費をかけないように早めの施設整備を行う。	
活動指標		成果指標	
運営に必要な経費の確保 ※目標値(前年度実績)		文化ホールの利用者数を増やす。	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
13,354,000(円)	13,287,000(円)	44,863(人)	40,134(人)
			89 %

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	6,769,000	6,648,382	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	482,000	438,265		県支出金 ()		
	委託料	6,161,000	5,744,707		地方債 ()		
	使用料及び賃借料	425,000	285,557		その他 (32.6)	4,571,000	4,156,279
	その他	189,000	169,935		一般財源 (67.4)	9,455,000	9,130,567
合計	14,026,000	13,286,846	合計	14,026,000	13,286,846		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		3	3,194,160				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
利用希望者の行事が重なった場合、会場確保が困難な場合がある。準備を要する行事については、運用規定で6か月前から使用申請を受け付けているが、施行規則では、申請時期が1か月前と短い。 また、施設の老朽化に伴い随所に不良箇所が出てきており、修繕料がかかる。	貸館業務としては、使用申請時期を統一することが望ましい。また、施設の維持管理については、なるべく経費をかけないように日頃から施設の保守点検を頻繁に行う。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		市民館		No	2				
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1	芸術文化を育む環境づくり			
事業名	市民館管理運営事業(文化ホール舞台吊物装置更新)								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	4	市民館費
	細目	1	市民館運営業務	細々目	1	市民館管理運営費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
文化ホールの舞台は、照明などの吊物装置によって演出効果を高め、様々な芸術表現が可能となる。そのため、非常に重量のあるものが頭上に吊っており、それを頻繁に上げ下げする。構造的には非常に危険なものである。法的には規制はないものの、県内のどの公立文化施設も、年数回の吊物点検をし定期的な吊物機材の更新を行っている。		文化ホールの舞台を利用する市民の安全性が高まり、より安心・快適に利用できる。		吊物装置の更新を平成22年度から24年度の3か年で危険性の高いもの、故障の可能性の高いものから順次改修する。平成23年度は、スクリーン昇降装置等の更新を行う。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
維持管理に必要な経費の確保 ※目標値(前年度実績)			文化ホールの利用人数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
7,035,000(円)		6,510,000(円)		44,863(人)		40,134(人)	
89 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	工事請負費	9,345,000	6,510,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 (100)	9,345,000	6,510,000
合計		9,345,000	6,510,000	合計		9,345,000	6,510,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.005	25,859				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
舞台吊物は、構造的には非常に危険なものであるため、更新後も、年数回の吊物点検が必要である。また、改修には、多額の経費がかかる。		現行年1回の点検をしているが、点検回数を増やす。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		市民館		No	3				
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	1 芸術文化を育む環境づくり				
事業名	市民館管理運営事業(文化ホール客席屋根シート部防水塗装工事)								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	4	市民館費
	細目	1	市民館運営業務	細々目	1	市民館管理運営費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	新規	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
文化ホール屋根シート部は防水塗装面が剥がれ劣化が進んでいる。そのまま放置すれば体育ホール南側屋根同様強風によりシート面が剥がされ体育ホール以上の甚大な被害を受ける可能性が大であるため、劣化を食い止めるために早期塗装補修をしたい。		文化ホール利用者の安全性が高まり快適に利用できる。		劣化防止塗装及び改修をする。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
修繕に必要な経費の確保 ※目標値(予算額)			文化ホールの利用者数を増やす。				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
840,000(円)		819,000(円)		44,863(人)		40,134(人)	
89 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	工事請負費	840,000	819,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 (100)	840,000	819,000
合計		840,000	819,000	合計		840,000	819,000

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.005	25,859

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
特になし	特になし

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		社会教育課		文化振興係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	2	芸術文化活動の推進			
事業名	きららガラス未来館運営事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	9	きららガラス未来館経費
	細目	1	きららガラス未来館運営業務	細々目	1	きららガラス未来館管理経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
ガラス作品等を作成できる体験学習施設を建設し「ガラス工房のあるまちづくり」を推進することにより、市民のふれあい・交流の場として、また本市の産業の礎となった窯業を伝承しつつ新しい文化の創造を図り、生涯学習社会の構築を目的とする。イベントや体験等を通して利用者が増加している。		市民がガラス文化を身近なものとして感じられるような体験等の機会を提供し、豊かな感性を養成する。		指定管理者による施設の管理運営を委託。	
活動指標			成果指標		
運営に要する予算額			利用者数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
23,230,000(円)		25,309,617(円)		102.8	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
13,000(人)		13,367(人)		%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	181,493	181,493	財源(割内合訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	25,000	23,874		県支出金 ()		
	委託料	25,983,256	25,104,250		地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		26,189,749	25,309,617	
合計		26,189,749	25,309,617	合計		26,189,749	25,309,617
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	906,150				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
リピータが増えて利用者が増加している。広く市民に、体験等のすそ野を広げることが課題。		イベントの工夫。出張体験等の拡大。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		文化会館		文化会館		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	2	芸術文化活動の推進			
事業名	文化団体の育成・支援、補助事業(文化協会)								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務費	細々目	11	文化振興関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
市民の幅広い芸術文化活動への参加や、質の高い芸術文化に触れる機会の充実につなげるため、市内で活動する約180の文化団体が加入する文化協会の育成・支援を行う。文化協会の運営については、平成23年度から事務局員を独自で雇用。平成23年度から、その人件費の1/2を補助。	市民の幅広い芸術文化活動の展開や、質の高い芸術文化に触れる機会の充実を図るため、市内の文化団体の運営を補助し、育成支援する。	文化協会を育成し、運営を支援する。	
活動指標		成果指標	
文化団体(文化協会)支援に要する予算額		文化協会加入団体数、個人加入者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
1,494,000円	1,494,000円	賛助・団体加入数:200、 個人会員数:600人	賛助・団体加入数:183、 個人会員数:453人
			83.50 %

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金・補助・交付金	1,494,000	1,494,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (100)		1,494,000	1,494,000	
合計		1,494,000	1,494,000	合計		1,494,000	1,494,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	604,100				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
加入団体はそれぞれ自主的にかつ活発に活動を行っているが、協会自体の活動については、さらに自主性を促す必要がある。今年度、個人会員、団体ともに加入数よりも退会数が多くなっており、加入者・加入団体の減少が目立つ。	平成23年度より事務局員を協会独自で雇用し、行政から独立させ、協会の自主的な運営をしてもらっている。個人、団体、賛助会員の増加のため、文化協会に加入するメリットを充実させていかなければならない。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート				課名	文化会館	文化会館	No	2	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)		小項目(基本事業)			
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興		2	芸術文化の振興	2	芸術文化活動の推進		
事業名	文化団体の育成・支援、補助事業(龍王伝説保存会)								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務費	細々目	11	文化振興関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
平成13年に開催された山口きらら博で発表した創作舞踊「龍王伝説」を継承・発展させるため、平成17年に結成された龍王伝説保存会を育成・支援する。	市民の幅広い芸術文化活動の展開や、質の高い芸術文化に触れる機会の充実を図るため、龍王伝説保存会の運営を補助する。	発表に向けて役員会を開催し、練習を行う。	
活動指標		成果指標	
会議、練習回数		発表回数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
7回	7回	2回	1回
			成果指標の到達度(B/A)
			50.00
			%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助金、交付金	162,000	162,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 (100)	162,000	162,000
合計		162,000	162,000	合計		162,000	162,000

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.1	604,100

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	B 有効性が認められる	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
平成23年度は、初めて単独で発表会を実施したものの、年間を通じた活動など更なる継承活動が必要。 また、現在は事務局を文化会館内に置き、職員が事務局を兼ねているが、今後は保存会の運営を支援するとともに、自立を促していく必要がある。	発表回数を増やす。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		文化会館		文化会館		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	2	芸術文化活動の推進			
事業名	文化団体の育成・支援、補助事業(山陽小野田少年少女合唱団)								
予算費目	款	10	教育費	項	5	市民文化祭開催経費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務費	細々目	11	文化振興関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
平成18年の国民文化祭において、文化会館で開催された「少年少女合唱祭」に出演する地元出演団体として、その前年に結成された。国民文化祭終了後も文化会館自主事業として毎年開催している「少年少女合唱祭」にホスト団体として参加するなど、地域文化振興に貢献しており、その運営について補助し、団体の育成・支援をする。		少年少女合唱団の運営を補助し、団体の継続・発展を支援することにより、国民文化祭を契機に芽生えた市内の児童合唱の輪を広げ、地域文化の活性化を図る。		合唱団の事務局を文化会館内に置き、職員が事務局を担当する。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
練習回数			発表回数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
48回		48回		6回		9回	
						150%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳		0	0	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()	0	0
合計		0	0	合計		0	0

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.15	443,170

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
国民文化祭を契機に結成された団体であるが、いつまでも市が事務局を担当するわけにはいかず、自立を促すことが必要である。	平成24年度に、事務局を移行し自立させる。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	ゼロ予算事業
-----	--------

平成23年度 事務事業評価シート

課名		文化会館		文化会館		No	4		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	2	芸術文化活動の推進			
事業名	文化団体の育成・支援、補助事業(市内学校関係)								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務費	細々目	11	文化振興関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
山陽小野田市教育文化振興基金の助成事業に関する要綱により助成を行っていたが、対象の文化団体に小・中学校及び高等学校の芸術文化団体がなかったため、平成21年度に助成対象として、市立小・中学校及び市内の高等学校の芸術文化団体を追加。また、中学校の学校教育全般における文化活動の振興・発展を図ることを目的とした「山口県中学校文化連盟」の会費を負担し、活動を支援する。		対象：市立小・中学校及び市内の高等学校 市立小・中学校及び市内の高等学校の芸術文化団体の芸術文化活動を支援し、幅広い芸術文化活動の展開を図る。		市立小・中学校及び市内の高等学校の芸術文化団体が、一定の条件を満たした大会への参加経費の一部を助成。(限度額50,000円) また、山口県中学校文化連盟の会費(中学校在籍生徒1名につき100円)を負担し、市内中学校の文化活動を支援する。	
活動指標			成果指標		
対象学校数			助成件数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
22校		22校		75%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
8件		6件			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金,補助金,交付金	276,000	173,800	財源(割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 (100)	276,000	173,800
合計		276,000	173,800	合計		276,000	173,800
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		文化会館		文化会館		No	5		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	2	芸術文化活動の推進			
事業名	芸術文化活動の顕彰事業(児童生徒書道展)								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務費	細々目	11	文化振興関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
芸術文化の活性化を図るため、芸術文化に顕著な功績があった個人・団体等を顕彰する。	市内在住または在園・在学の園児、児童、生徒を対象に、書道作品を募集。審査・顕彰することで、芸術文化活動の推進及び活性化を図る。	市内在住または在園・在学の園児、児童、生徒を対象に、12月から1月にかけて書道作品を募集。市内書道団体の代表者等を審査員とし、審査した後、1月下旬から2月上旬にかけて応募の全作品をおのだサンパークに展示し、市民ほか多くの来場者に鑑賞してもらう。表彰状・参加賞を授与。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
広報、啓発活動等の回数 周知する幼・保・学校の数		対象者(4-15才)に対する参加者(出品者)の割合 1,238人 / 7,147人		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	86.6 %
4回(HP、広報紙等) 幼・保24園、学校19校	4回(HP、広報紙等) 幼・保24園、学校19校	20%	17.32%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	50,000	60,000	財(源内合訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	55,251	36,299		県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (100)		105,251	96,299	
合計		105,251	96,299	合計		105,251	96,299
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,208,200				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
芸術文化活動の顕彰事業については、現在は「児童生徒書道展」のみを実施している。芸術文化に顕著な功績があった個人・団体等を顕彰し、市の芸術文化活動の推進及び活性化を図るためには、他の顕彰事業も検討する必要があるが、顕彰内容、審査方法等課題が多い。	他の顕彰事業についても実施を検討する。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		文化会館		文化会館		No	6		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	2	芸術文化の振興	2	芸術文化活動の推進			
事業名	文化振興ビジョン策定事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務費	細々目	11	文化振興関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
合併以降、新市の文化振興ビジョンが策定されておらず、文化振興の方向性が明らかでない。第一次総合計画に基づき、市民の幅広い文化芸術活動を支援するとともに、質の高い文化芸術に接する機会の提供や環境の整備、文化財の保存、活用等について、その具体的な指針となる文化振興ビジョンを策定する必要がある。	平成23年度末を目標に、文化振興ビジョンを策定し、市の文化振興の方針を明らかにする。	教育委員会の附属機関として「文化振興ビジョン検討委員会」を設置する。平成22年度から23年度にかけて協議・検討を重ね、答申をいただく。その後、パブリックコメント等を経て、平成23年度末を目標に文化振興ビジョンを策定する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
文化振興ビジョン検討委員会 会議開催回数		文化振興ビジョン策定進捗度		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	90%
5回	5回	100%	90%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報酬	60,000	37,000	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (100)		60,000	37,000	
合計		60,000	37,000	合計		60,000	37,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.35	1,707,532				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
文化振興の内容は広範囲であり、まちづくりの要素も多分に含んでいるため、関係部署との連携が必要となってくる。	関係部署との連携をすすめる。市長部局への移管を検討する。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	